

校長室より

令和 4年 3月17日
校長 植野 博之



今年はとても寒い日が続きましたが、ようやく桜のつぼみも膨らみ始め、卒業式の季節となりました。

みはま支援学校でも卒業式が行われました。

3月1日（火）二学部（高等部通学生）の卒業式、3月15日（火）一学部（中、高等部和歌山病院入院児童生徒）卒業式及び二学部（中学部通学生）卒業式が実施されました。

二学部高等部卒業式

3月1日（火）二学部（高等部通学生）9人の卒業式が、行われました。コロナ禍の中でこの2年間は行事や授業等でも様々な制限があり、大変な学生時代を過ごした生徒達でありました。でもとても明るく前向きにそれぞれの進路へ向けて、巣立って行きました。



文化祭では、軽音楽などでも活躍し、すばらしい歌や合奏を披露してくれ、後輩達のおこがれの先輩でもありました。お別れの歌の合唱も想いのこもった感動的な歌でした。

式後も同級生や後輩達、先生達とも別れを惜しみながらたくさんの写真を撮ったり、話に盛り上がっていました。

「和顔施」という仏教の言葉があります。和やかで穏やかな笑顔をほどこすことが、他の人を幸せにし、自分の徳にもなるという言葉です。まさに卒業生達の笑顔は、「和顔施」であり、みんなの心も温かく元気にしてくれました。

二学部中学部卒業式

3月15日（火）午前、二学部（中学部通学生）4名の卒業式が、体育館で実施されました。

中学部から本校高等部へ、また違う高校へと進学する生徒もいます。

卒業生の答辞の生徒の言葉もすばらしく、凜とした中に3年間の想いのこもったすばらしい答辞で感動しました。それぞれとても個性がありますが、とても仲のよい学年で協力的な仲間達でした。修学旅行で頑張って歩いた熊野三山の石段は忘れられない思い出ですね。



新しい出会いや経験の中で、不安や心配なこともあると思いますが、それゆえに大きな自信や経験も積み、感動も生まれます。新しい環境で自分の志をさらに広げていってください。

一学部中学部高等部卒業式

3月15日（火）の午後、一学部（中、高等部和歌山病院入院生徒）の卒業式を和歌山病院5階のホールにて実施しました。中学部3名、高等部3名、計6名が卒業しました。全員体調もよく元気に式に出席しました。

保護者は病院内には入れないため、オンラインで繋ぎ、リアルタイムで卒業式の生徒や式場の様子をライブ映像で流し、参加していただくことができました。

来賓の和歌山病院の院長始め、関係者の方々にはご参加していただきありがとうございました。

中学部3名の内、2名は他校から本校に転学してきましたが、大きな環境の変化があっても、すぐにみはま支援や和歌山病院での生活に馴染めましたね。3人とも自分の意思や想いを目や口の動き、様々な仕草で伝えてくれ、先生達を感動させてくれました。

高等部3名の卒業生の中には小学部から12年間本校で過ごした生徒もいます。また66歳という高齢ですが、就学猶予で中学部から本校で教育を受けてきた生徒もいます。学びに年齢は関係なく、また学びを通しての成長を日々感じさせてくれました。人との関わりが大好きな卒業生で、輝くような優しい笑顔でみんなを魅了してくれました。想いのこもった素敵な卒業式でした。

何より健康に元気に卒業できたことを嬉しく思います。保護者や関係者の皆様にお祝いと御礼申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

